

スーパーグローバル大学創成支援
タイプA



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

HOKKAIDO ユニバーサルキャンパス イニシアチブ

— 世界に開かれ世界と協働 —

北海道大学 総長 山口 佳三



世界の課題解決に貢献する北海道大学へ

近未来戦略150ビジョンの達成

- 総長がリーダーシップを発揮する大学運営
- 課題解決のためのトップレベル研究を推進
- 社会との連携・協働による知の発信・創造
- 国際社会の指導的・中核的人材を育成
- 世界的存在感を発揮するための戦略的広報

国際通用性の向上

大学改革

国際競争力の強化

世界に開かれ 世界と協働

HOKKAIDO
ユニバーサルキャンパス
イニシアチブ

1-4-4 改革プランの推進

構想の骨格

国際通用性の向上 国際競争力の強化

世界の課題解決を牽引する人材の育成

パラダイム転換が進行する世界の中で
時代の課題を引き受け
新しい道を切り開く人材

全学 1-4-4 改革プラン

“世界の架け橋”



新渡戸稲造

研究力強化戦略

- 海外研究ユニット誘致 (GI-CoRE)
- 国際共同研究の事務局運営
- 研究支援体制の整備 (URAなど) など

産学連携強化戦略

- 橋渡し研究の加速
- 組織対組織型大型共同研究の創出
- フード&メディカルイノベーション国際拠点の形成
- 創薬・医療イノベーション拠点の形成 など

① ガバナンス強化プラン

4つの教育改革プラン

- ① NITOBEE教育システムによる先進的教育の実施
- ② 異分野連携による「国際大学院」群の新設
- ③ ラーニング・サテライトの機動的開設
- ④ サマー・インスティテュートの展開

4つのシステム改革プラン

- ① 全学的な教学マネジメント体制の整備
- ② 人事制度の国際化
- ③ 国際対応力の高度化
- ④ 国際広報力の強化

目標設定の考え方

近未来戦略150達成に向け、「世界との協働」の進捗状況を把握するという考え方に立ち、客観的な独自指標および目標値を設定

先進的な教育改革の全学的展開

構想実現のための教育改革プラン



① NITOBÉ 教育システム

新渡戸カレッジ

- 全学部が協働で教育
- 新渡戸稲造に由来する基本精神を教育
- 留学を義務化
- 新渡戸フェロー(同窓生)によるキャリア教育

新渡戸グラデュエートスクール

- 全大学院が協働で教育：専門能力を最大限発揮するための共通教育
- 新しい教授法の開発
- 修学ポートフォリオによる教育PDCA
- 多国籍チームによる課題解決型学習

② 国際大学院

GI-CoRE：研究ユニット誘致

- 国際連携研究教育局
- 混合給与など新しい人事制度を導入
- がんの放射線治療：スタンフォード大
- 人獣共通感染症：メルボルン大、ダブリン大
- 食資源：シドニー大、ミュンヘン大 など

時代に即した教育組織へと改組

- 医理工学院、国際感染症学院、国際生存資源学院を開設
- さらに5つの研究ユニットから改組へ
- 学部・修士一貫：Integrated Science Programを開設

③ ラーニング・サテライト

世界各地に知を派遣

- 海外の大学と協働で60科目開講
- 機能を拡張した海外オフィスをコアに教育展開
- JDやコチュテルに発展

④ サマー・インスティテュート

北海道に知を集結

- 4学期制の2学期に実施
- 世界トップの研究者などを100名招へい
- トップランナーと協働で300科目開講
- 学際的な知的交流を促進

全学への普及手法

1. 全学の協働を通じて、新しいシステムを全学に浸透・一般化
2. 各部局の挑戦的企画を「GI-CoRE」で、グローバル化の仕掛けとして完成
3. 部局間競争が生じる環境を作り出すことで、各部局のアイデア創出と改革実行を喚起
4. 高等教育研修センターによる研修を通じて、ビジョン、ノウハウ、効果を全学に浸透・一般化

教育改革の全学的展開



改革の全学展開を加速させる基盤整備

構想実現のためのシステム改革プラン

① 全学的教学マネジメント体制の整備

教育システムの学内統一

4学期制、新GPA制度、ナンバリング、シラバスの英語化とチェックシステム、教育・学習実態の把握と分析

② 人事制度の国際化

ダイバーシティに富む組織の実現

外国人招へい教員制度、混合給与制度、年俸制、厳密な業績評価、全学的テニュアトラック制度

③ 国際対応力の高度化

教職員の能力開発

高等教育研修センター、ファカルティ・ディベロップメント、スタッフ・デベロップメント、新サバティカル研修制度、民間企業との人事交流、英語研修促進

④ 国際広報力の強化

北海道大学コミュニティの確立

グローバル・リレーション室、英語版ポートレートの開設、教育研究情報の徹底的な公開、北海道大学パートナー／アンバサダー制度、寄付メニューの開発

1-4-4 改革プラン

● ガバナンス強化プラン



効果

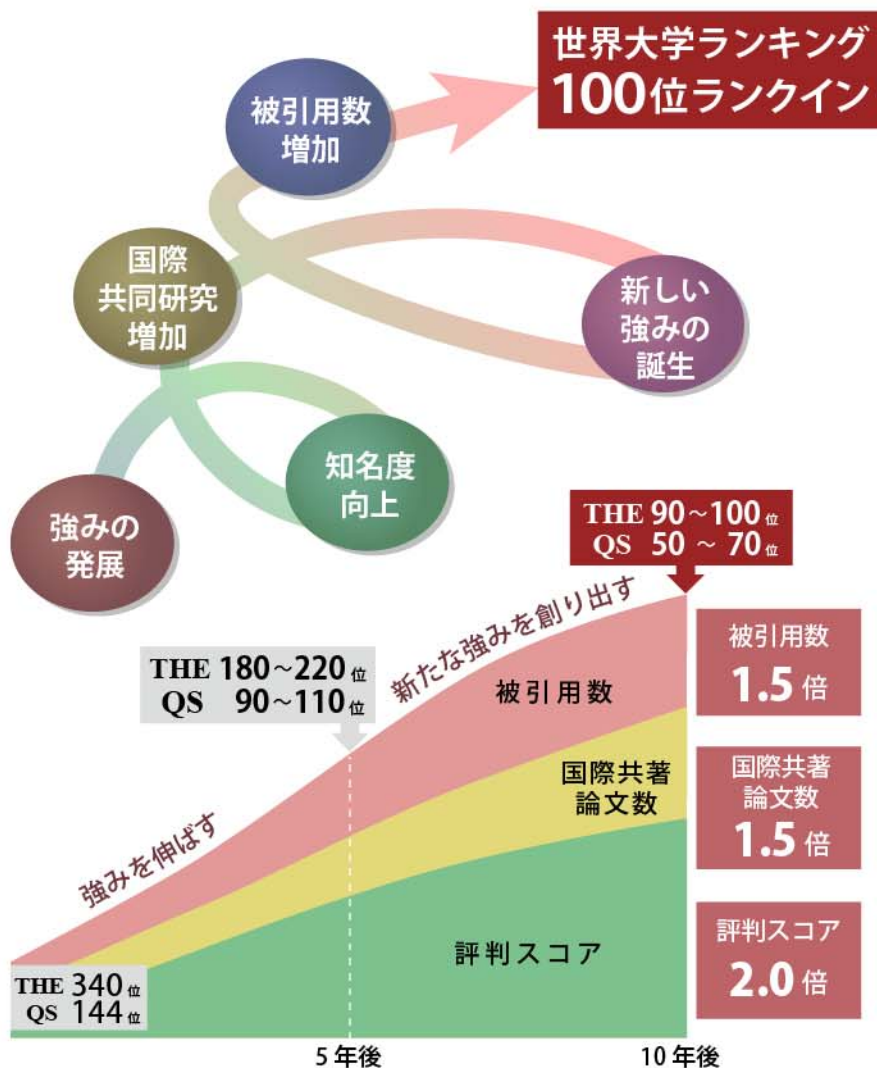
1. 組織文化の変革
2. 制度の変革
3. 個人の変革
4. 学外ステイクホルダーとの関係性の変革

※ 共にビジョン達成を目指す
コミュニティー化

全学改革の円滑化&加速化

強みを伸ばし、新たな強みを創り出す

国際的評価向上に向けた10年シナリオ



1-4-4改革プラン+ 研究力強化戦略

北大コミュニティの拡大

- アンバサダー/パートナー制度
- 国際広報

戦略的
広報

海外の大学 世界第一線の研究者 } 協働機会 増大

- ラーニング・サテライト
- サマー・インスティテュート
/世界の課題レポート
- 新サバティカル制度

戦略的
招へい

国際共同研究の増大

- URA & 産学連携コーディネーターによる
マッチング
- 国際共同研究プロジェクト事務局の誘致

戦略的
予算
配分

協働関係の恒常化

- GI-CoREへ研究ユニット誘致
- 混合給与制度、招へい教員制度
- ジョイント・ディグリー、
コチュテル（博士論文共同指導）

戦略的
雇用

知名度
向上

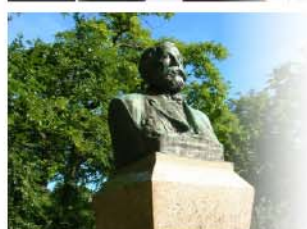
共同
研究
増加

被引用
数の
増加

世界の課題解決に貢献する大学として 確固たる存在感を確立

近未来戦略 150 ビジョンの達成

HOKKAIDO ユニバーサルキャンパスの 10 年後



- 「総長ガバナンス体制」の整備
- 時代の変化を先取りする「教育・研究体制」
- 最先端の「国際共同教育プログラム」を世界各地で提供
- 世界中から優秀な学生が集まる「多文化キャンパス」
- 異分野連携「国際大学院」群の創出
- 「北海道大学コミュニティー」と世界各地で協働
- 世界大学ランキングで「100位以内」